

感染予防医学講座

Clinical Infectious Diseases

教授	山本 善裕	Yoshihiro Yamamoto
講師	酒巻 一平	Ippei Sakamaki
助教	東 祥嗣	Yoshitsugu Higashi
診療助手	松本かおる	Kaoru Matsumoto

◆ 著 書

- 1) 山本善裕. 診療ガイドライン UP-TO-DATE 2016-2017. 門脇 孝, 小室一成, 宮地良樹監修. 大阪: メディカルレビュー社; 2016. 呼吸器感染症 (かぜ症候群・市中肺炎); p. 1-7.
- 2) 山本善裕. 呼吸器疾患最新の治療 2016-2018. 杉山幸比古, 門田淳一, 弦間昭彦編集. 東京: 南江堂; 2016. かぜ症候群と急性気管支炎; p. 203-5.
- 3) 山本善裕. 感染症最新の治療 2016-2018. 藤田次郎, 竹末芳生, 館田一博編集. 東京: 南江堂; 2016. 慢性気道感染症および急性増悪; p. 182-3.
- 4) 東 祥嗣, 山本善裕. 脳神経外科診療プラクティス 脳神経外科医が知っておきたい薬物療法の考え方と実際. 橋本信夫監修, 清水宏明編集. 東京: 文光堂; 2016. 周術期の抗菌薬「やっちはいけないこと」・「やるべきこと」; p. 204-5.

◆ 原 著

- 1) 東 祥嗣, 中村茂樹, 朝野寛視, 井手昇太郎, 高園貴弘, 宮崎泰可, 泉川公一, 柳原克紀, 山本善裕, 河野 茂. キャピリア MAC 抗体検査の精度管理と患者背景の臨床的検討. *Kekkaku*. 2016 Feb; 91(2): 27-32.

◆ 症例報告

- 1) Ashizawa N, Tsuji Y, Koyomi K, Higashi Y, Tashiro M, Nogami M, Gejo R, Narukawa M, Kimura T, Yamamoto Y. Successful treatment of methicillin-resistant *Staphylococcus aureus* osteomyelitis with combination therapy using linezolid and rifampicin under therapeutic drug monitoring. *J Infect Chemother*. 2016 May; 22(5): 331-4.
- 2) Ashizawa N, Nakamura S, Ide S, Tashiro M, Takazono T, Imamura Y, Miyazaki T, Izumikawa K, Yamamoto Y, Yanagihara K, Miyazaki Y, Kohno S. Successful Treatment of *Aspergillus* Empyema Using Open Window Thoracostomy Salvage Treatment and the Local Administration of an Antifungal Agent. *Intern Med*. 2016; 55(15): 2093-9.

◆ 総 説

- 1) 山本善裕. 巻頭言 AST とアクティブコンサルテーション. 化学療法の領域. 2016 Mar; 32(3): 371.
- 2) 山本善裕. 感染症診療の最近の話題～急性気道感染症を中心に～. 日内会誌. 2016 Mar; 105(3): 511-4.
- 3) 鳴河宗聡, 山本善裕. 新薬の最近の話題 コリスチン注射薬. 分子呼吸器病. 2016 Mar; 20(1): 87-8.
- 4) 福森史郎, 辻 泰弘, 山本善裕. 薬剤師による処方設計 感染症領域における薬学的介入～感染症科と薬学部との連携～. *医薬ジャーナル*. 2016 May; 52(5): 137-42.
- 5) 酒巻一平, 岩崎博道. リンパ腫治療における発熱性好中球減少症. *臨床雑誌内科*. 2016 Jun; 117(6): 1347-50.
- 6) 酒巻一平, 岩崎博道. 白血球減少と感染症. *日本臨牀*. 2016 Jul; 74(5): 431-5.

◆ 学会報告

- 1) 関口敬文, 氏原康裕, 森田未香, 坂本純子, 野手良剛, 河合暦美, 鳴河宗聡, 山本善裕. 富山大学附属病院における血液培養検査の日常業務時間外提出状況とその対応効果の考察. 第 27 回日本臨床微生物学会総会・学術集会; 2016 Jan 29-31; 仙台.
- 2) 前田慎一, 青木雅子, 北川洋子, 鳴河宗聡, 山本善裕. ハイケアユニットにおける感染管理プラクティスの導入による感染予防行動の効果. 第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会; 2016 Feb 19-20; 京都.
- 3) 窪田佳代子, 三村泰彦, 山本善裕. 富山大学附属病院での AUD と DOT を用いた抗菌薬の使用状況の評価. 第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会; 2016 Feb 19-20; 京都.
- 4) 東 祥嗣, 河合暦美, 山本善裕. 富山県における Antifungal stewardship の取り組み. 第 1 回日本医真菌学会東海・

北陸支部深在性真菌症部会；2016 Feb 21；名古屋。

- 5) 山本善裕. シンポジウム 嫌気性菌呼吸器感染症の治療. 第46回日本嫌気性菌感染症学会学術集会；2016 Mar 4-5；長崎.
- 6) 山本善裕, 東 祥嗣, 河合暦美, 廣川達郎, 関 庄二, 川口善治, 上野智浩, 仁井見英樹. 質量分析および Tm mapping 法を用いた遺伝子検査が早期診断に有用であった *Parvimonas micra* による化膿性椎体椎間板炎の一例. 第46回日本嫌気性菌感染症学会学術集会；2016 Mar 4-5；長崎.
- 7) 川筋仁史, 東 祥嗣, 河合暦美, 徳井宏太郎, 林 龍二, 戸邊一之, 山本善裕. ダプトマイシン血中濃度測定が診断の一助となった薬剤性好酸球性肺炎の一例. 第228回日本内科学会北陸地方会；2016 Mar 13；富山.
- 8) 山本善裕, 河野雅人, 田辺正樹, 和田泰三, 八木哲也, 中村 敦, 岩崎博道, 村上啓雄. シンポジウム「感染症と教育」. 第90回日本感染症学会総会；2016 Apr 15-16；仙台.
- 9) 東 祥嗣, 川筋仁史, 宮嶋友希, 河合暦美, 上野智浩, 仁井見英樹, 山本善裕. 薬物血中濃度測定が鑑別診断に有用であったダプトマイシンによる好酸球性肺炎の一例. 第90回日本感染症学会総会；2016 Apr 15-16；仙台.
- 10) 山本善裕, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 芦澤信之, 福森史郎, 辻 泰弘. LZD に対する TDM を活用した RFP 併用療法時のマネジメント. 第64回日本化学療法学会総会；2016 Jun 9-11；神戸.
- 11) 東 祥嗣, 松本かおる, 河合暦美, 山本善裕. 嫌気性菌感染症に対する Melting Temperature (Tm) mapping 法を用いた遺伝子診断の臨床応用. 第64回日本化学療法学会総会；2016 Jun 9-11；神戸.
- 12) 尾上知佳, 辻 泰弘, 福森史郎, 河合暦美, 東 祥嗣, 山本善裕. ダプトマイシンの血液中安定性試験および分解過程の速度論解析. 第64回日本化学療法学会総会；2016 Jun 9-11；神戸.
- 13) 松本かおる, 東 祥嗣, 河合暦美, 山本善裕. 質量分析装置を用いて迅速に診断し得た *Parvimonas micra* による化膿性椎体椎間板炎の1例. 第229回日本内科学会北陸地方会；2016 Jun 19；金沢.
- 14) 松本かおる, 東 祥嗣, 木谷健人, 川筋仁史, 宮嶋友希, 河合暦美, 辻 泰弘, 酒巻一平, 山本善裕. 当院におけるダプトマイシンの使用状況. MRSA フォーラム 2016；2016 Jul 23；岐阜.
- 15) 山本善裕, 辻 泰弘. シンポジウム「リネゾリドの使い方を多角的に考える」リネゾリドを有効活用するために～臨床の立場から～. MRSA フォーラム 2016；2016 Jul 23；岐阜.
- 16) 辻 泰弘, 山本善裕. シンポジウム「Daptomycin—これからの課題—」ダプトマイシンの PK-PD と臨床応用. MRSA フォーラム 2016；2016 Jul 23；岐阜.
- 17) 木谷健人, 東 祥嗣, 松本かおる, 河合暦美, 酒巻一平, 河岸由紀男, 山本善裕. 診断に苦慮した *Mycobacterium bovis* による感染性大動脈瘤の一例. 第230回日本内科学会北陸地方会；2016 Sep 4；福井.
- 18) 塚崎 光, 伊藤和広, 田居克則, 山本雄也, 大岩加奈, 松田安史, 細野奈穂子, 池ヶ谷諭史, 酒巻一平, 岸 慎治, 浦崎芳正, 岩崎博道, 山内高弘. Diagnostic value of presepsin for early detection of bacterial infection in hematological diseases. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 19) 細野奈穂子, 塚崎 光, 山本雄也, 大岩加奈, 伊藤和広, 大蔵美幸, 多崎俊樹, 松田安史, 田居克則, 酒巻一平, 池ヶ谷諭史, 岸 慎治, 浦崎芳正, 上田孝典, 山内高弘. Close association between reduction of the peripheral WT1 mRNA and the efficacy of azacytidine. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 20) 重見博子, 川道美里, 細谷龍男, 松本玲奈, 松岡紗英, 塚崎 光, 山本雄也, 大岩加奈, 伊藤和広, 大蔵美幸, 松田安史, 多崎俊樹, 森田美穂子, 田居克則, 細野奈穂子, 酒巻一平, 上田孝典, 山内高弘. Using Raspricase for tumor lysis syndrome with hematological malignancies and electrolytic changes. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 21) 多崎俊樹, 細野奈穂子, 塚崎 光, 山本雄也, 大岩加奈, 伊藤和広, 大蔵美幸, 松田安史, 田居克則, 酒巻一平, 山内高弘. AML-Score, AML-Score の多変数因子, ならびに PS を用いた高齢者 AML 自験 28 例の検討. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 22) 松本玲奈, 松田安史, 酒巻一平, 塚崎 光, 山本雄也, 大岩加奈, 伊藤和広, 田居克則, 細野奈穂子, 岸 慎治, 山内高弘. Peripheral monocytosis as an initial presentation in a patient with diffuse large cell lymphoma. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 23) 大岩加奈, 岸 慎治, 松本玲奈, 塚崎 光, 山本雄也, 伊藤和広, 大蔵美幸, 多崎俊樹, 森田美穂子, 松田安史, 田居克則, 細野奈穂子, 池ヶ谷諭史, 酒巻一平, 浦崎芳正, 吉田 明, 岩崎博道, 上田孝典, 山内高弘. Prediction for poor mobilization of PBSC in patients with hematological malignancy. 第78回日本血液学会学術集会；2016 Oct 13-15；横浜.
- 24) 山本雄也, 細野奈穂子, 塚崎 光, 大岩加奈, 伊藤和広, 大蔵美幸, 多崎俊樹, 松田安史, 田居克則, 酒巻一平,

池ヶ谷諭史, 岸 慎治, 浦崎芳正, 吉田 明, 上田孝典, 山内高弘. The clinical characteristics of t-MDS/t-AML; 18 cases of single institute experience. 第 78 回日本血液学会学術集会; 2016 Oct 13-15; 横浜.

- 25) 伊藤和広, 岩崎博道, 田居克則, 重見博子, 酒巻一平, 上田孝典, 山内高弘. Two cases cryptococcosis with hematological malignancies diagnosed by blood culture. 第 78 回日本血液学会学術集会; 2016 Oct 13-15; 横浜.
- 26) 辻 泰弘, 尾上知佳, 福森史郎, 東 祥嗣, 山本善裕. 腎不全状態におけるリネゾリド誘発血小板数減少発現機序の解明. 第 63 回日本化学療法学東日本支部総会; 2016 Oct 26-28; 新潟.
- 27) 尾上知佳, 辻 泰弘, 福森史郎, 東 祥嗣, 山本善裕. 血液中のダブトマイシンは温度上昇により分解が促進される. 第 63 回日本化学療法学東日本支部総会; 2016 Oct 26-28; 新潟.
- 28) 齋藤知里, 金谷潤一, 広明秀一, 松島範子, 黒澤 豊, 山本善裕. BCG 感染症が判明した 1 症例について. 第 44 回北陸公衆衛生学会; 2016 Nov 21; 富山.
- 29) 早稲田優子, 渡辺和良, 河合暦美, 山本善裕. *Mycobacterium avium* 感染増悪に対し片肺切除を行い治療に難渋した 1 例. 第 59 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2016 Nov 24-26; 沖縄.
- 30) 宮嶋友希, 木谷健人, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. ホタルイカ生食が原因と考えられた旋尾線虫感染症の 1 例. 第 59 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2016 Nov 24-26; 沖縄.
- 31) 木谷健人, 宮嶋友希, 川筋仁史, 松本かおる, 河合暦美, 東 祥嗣, 酒巻一平, 山本善裕. 診断に苦慮した *Mycobacterium bovis* による感染性大動脈瘤の 1 例. 第 59 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2016 Nov 24-26; 沖縄.
- 32) 川筋仁史, 東 祥嗣, 木谷健人, 宮嶋友希, 松本かおる, 河合暦美, 酒巻一平, 山本善裕. 入院前より接触感染を徹底することでアウトブレイクを防ぐことが出来た MDRA による皮膚潰瘍、骨髄炎の 1 例. 第 59 回日本感染症学会中日本地方会学術集会; 2016 Nov 24-26; 沖縄.

◆ その他

- 1) 山本善裕. 感染症 TODAY 海外と比較したわが国の Antimicrobial stewardship の現状と課題. ラジオ NIKKEI; 2016 Jan 27; 東京.
- 2) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 諫早総合病院感染対策講習会; 2016 Jan 22; 長崎.
- 3) 山本善裕. Antimicrobial stewardship に活かす臨床検査法. 第 50 回緑膿菌感染症研究会ランチョンセミナー; 2016 Feb 4-6; 東京.
- 4) 山本善裕. わが国の Antimicrobial stewardship の現状と課題. 長崎県病院薬剤師会感染制御研修会; 2016 Feb 13; 長崎.
- 5) 山本善裕. Antimicrobial stewardship に貢献できる迅速診断法とは～POCT と遺伝子診断を中心に～. 第 31 回日本環境感染学会総会・学術集会ランチョンセミナー; 2016 Feb 19-20; 京都.
- 6) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 福井感染対策講習会; 2016 Feb 25; 福井.
- 7) 山本善裕. 最近話題の感染症とその対策. 富山県新型インフルエンザ等実地訓練; 2016 Feb 27; 富山.
- 8) 山本善裕. 最近話題の感染症. 平成 27 年度富山県臨床衛生検査研修会; 2016 Mar 2; 富山.
- 9) 山本善裕. 市中肺炎の治療. 平成 28 年度第 1 回薬剤師抗菌化学療法実践教育プログラム; 2016 Apr 3; 神戸.
- 10) 山本善裕. 抗菌薬適正使用の考え方. 第 80 回富山県耳鼻咽喉科臨床研究会; 2016 Jul 7; 富山.
- 11) 山本善裕. アスペルギルス症の最近の話題～ガイドラインを中心に～; 2016 Jul 8; 岐阜.
- 12) 山本善裕. 感染制御の重要性～ひとりひとりができること～. 旭川 Infection Control Forum; 2016 Jul 13; 旭川.
- 13) 山本善裕. 海外勤務者が知っておきたい感染症とその対策. 平成 28 年度第 2 回産業医スキルアップ研修会; 2016 Jul 20; 富山.
- 14) 山本善裕. MRSA 感染症へのアプローチ～抗 MRSA 薬の適正使用～. 岐阜 MRSA 感染症セミナー; 2016 Jul 29; 岐阜.
- 15) 山本善裕. 感染制御の重要性～抗菌薬適正使用を含めて～. 第 16 回山形県感染対策セミナー; 2016 Jul 30; 山形.
- 16) 山本善裕. 私が思う「抗菌薬適正使用」. 研修医と指導医のための感染症勉強会 in Osaka 2016; 2016 Dec 7; 大阪.
- 17) 酒巻一平. ジカウイルス感染症についての最近の知見. 第 3 回 Toyama Infection Conference; 2016 Jul 14; 富山.
- 18) 東 祥嗣. 富山県におけるカンジダ血症診療の実態調査 up to date. 第 4 回富山深在性真菌症研究会; 2016 Jun 3; 富山.
- 19) 東 祥嗣. 抗菌薬の基礎知識と適正使用. 第 14 回 Toyama Infection Control Specialist; 2016 Oct 15; 富山.
- 20) 東 祥嗣. 診断に苦慮した *Mycobacterium bovis* による感染性大動脈瘤の 1 例. 第 4 回富山結核・抗酸菌症研究会; 2016 Nov 18; 富山.